

第2章 新市のまちづくりの基本方向

1. 新市の将来像

自然と産業が調和し 人と人がふれあう 活力ある自立分権都市 相模原

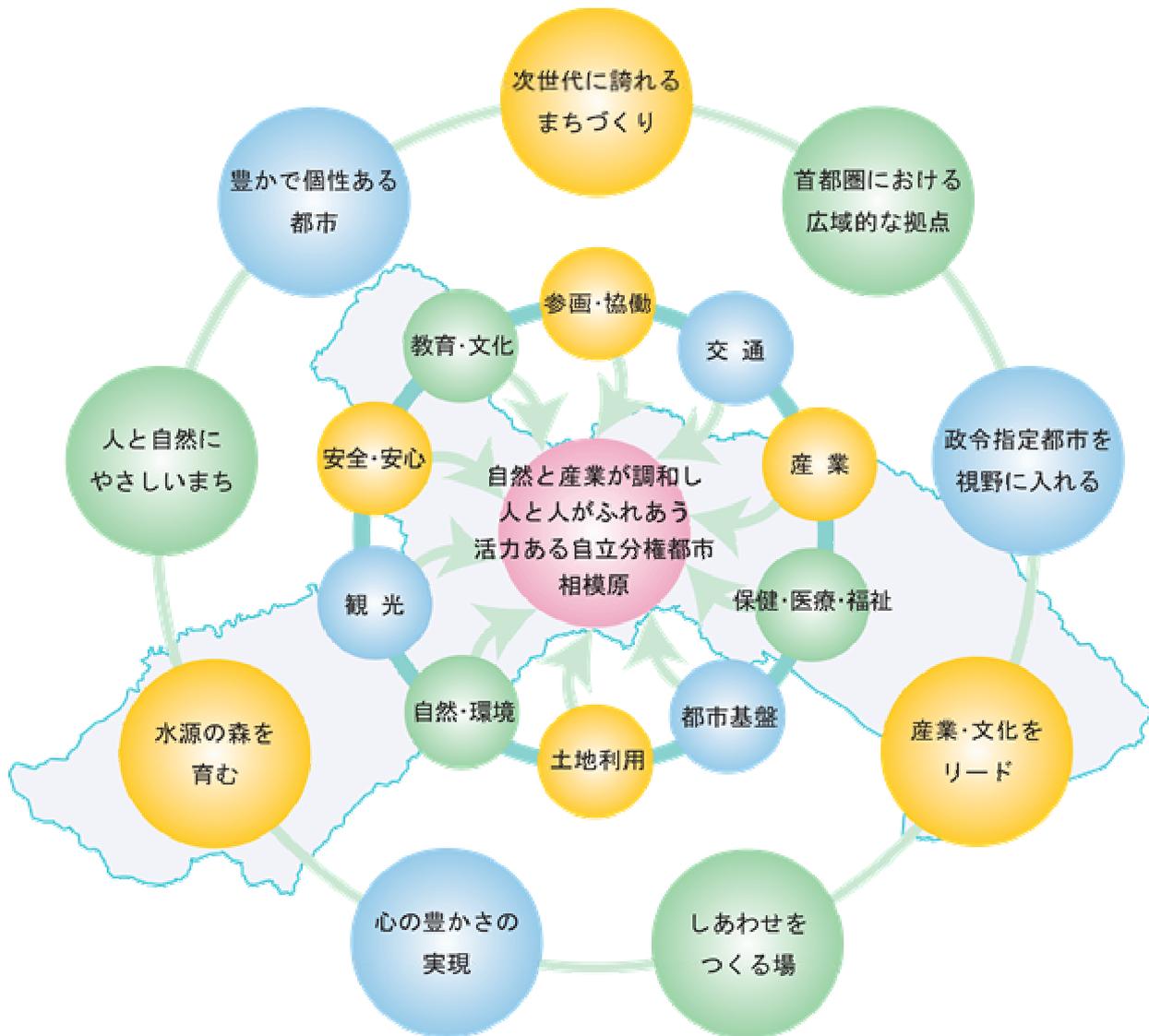
～森が育む水の力 水がそだてるまちの力
まちにいきづく人の力 地域の力と魅力を活かしたまちづくり～

相模原市、城山町、津久井町、相模湖町は、
にぎわいと活力のある都市と、
うるおいとやすらぎを与えてくれる豊かな自然をあわせもつ、
魅力あふれる新しい都市になろうとしています

水源の森を育み、
首都圏における広域的な拠点として、
産業・文化をリードし、
さらに豊かで、個性ある都市として発展を図り、
政令指定都市を視野に入れた新しいまちづくりにチャレンジします

そして、
人と自然にやさしいまちとして、
市民一人ひとりが、しあわせをつくる場へと
さらに進化させることにより、
心の豊かさを実感する
次世代に誇れるまちづくりを進めます

将来像のイメージ



2. 合併シンボルプロジェクト

新市の将来像の実現に向けて、合併した場合のシンボルとして考えられるプロジェクトです。

1. 地域連結夢プロジェクト

新市の生活や経済の活性化を支え、広域的な「市民の交流」「新市の情報発信」の充実を進めるためのインフラ*3として、幹線道路の早期実現、交流拠点の整備、新交通システム*4の導入を図ります。

これにより、地域の交通の利便性、快適性の向上を推進します。同時に新市の一体化を図ります。

- ・津久井広域道路、さがみ縦貫道路の早期完成の実現
- ・津久井広域道路、さがみ縦貫道路への交流拠点（地域の総合体験学習拠点、道の駅等）設置の検討
- ・地域内を結ぶ生活道路の充実
- ・道路景観の改善
- ・新交通システム（モノレール、路面電車、デュアルモードバス*5 など）及び交通需要マネジメントシステム*6の導入

